

ーション等の福祉事業の拡大を図った。

以下、資産内容および昭和48年度実施した事業は次のとおりである。

(1) 財産目録		
資産総額	金	24,934,543円
基本財産金額	金	10,000,000円
(1) 資産の部	金	10,000,000円
運用財産金額		
(1) 資産の部	金	548,963,186円
(2) 負債の部	金	534,028,643円
差引正味財産	金	14,934,543円
(2) 短期給付事業		
(イ) 家族医療補助金		247,699件
		368,752,956円
(ロ) 死亡弔慰金	(会 員 被扶養者)	36件 427件
		18,646,500円
(ハ) 出産見舞金	(会 員 配偶者)	399件 629件
		11,568,500円
(ニ) 傷病見舞金		19件
		5,140,561円
(ホ) 災害見舞金		3件
		558,740円
(3) 長期給付事業		
退会金		379件
		18,860,000円
(4) 貸付事業		
(イ) 生活資金貸付		342件
		33,900,000円
(ロ) 海外研修旅行貸付		22件
		6,600,000円
(ハ) 大学入学準備金貸付		46件
		9,200,000円
(5) 厚生事業	○の数字は、事業開始年度を示す。	
●結婚手当金	㊸	498人 9,940,000円
●療養見舞金	㊹	86人 550,000円
●医薬品補給給付金	㊺	5,154人 34,567,950円
●成人病予防検診費助成	㊻	101人 186,850円
●指定旅館利用助成	㊼	9,548件 4,774,000円
●長期療養者見舞品	㊽	37人 120,660円
●退職会員医薬品贈呈	㊾	306人 765,000円

●へき地通院費助成	㊿	180件	1,396,000円
●へき地妊婦検診費助成	㊿	28人	126,300円
●夏期研修旅行助成	㊿	118人	590,000円
●海外研修旅行助成	㊿	15人	450,000円
●会員レクリエーション	対象者		
助 成	㊿	19,957人	3,006,000円
●冬期レクリエーション	助 成	㊿	98人 695,295円
●尾瀬探勝会	㊿	201人	1,331,300円
●高度へき地会員研究費	助 成	㊿	119人 595,000円
●女子会員保健文化事業	㊿	1,341人	713,178円
●弔慰供花	㊿	37人	111,000円
●乳児ミルク助成	㊿	599件	4,000,000円
●あづま荘会議室使用料	助 成	㊿	15件 196,680円
●退職会員あづま荘利用者 助 成	㊿	326件	163,000円
(6) 公益事業			
●互助会文庫	㊿	471冊	300,000円
●文化講演会	㊿ (経費)		800,000円
		ユーモアについて	阿川 弘之
		小説と作文	三浦 朱門
		会津若松市民会館、福島県文化センター	
●へき地児童・生徒用医薬品配布	㊿	252校	1,206,000円

10. 児童手当について

教職員の家庭生活の安定に寄与するとともに、次代の社会をにやう児童の健全な成長と資質の向上を図るため「児童手当法」（昭和46年5月27日公布）にもとづき、対象者の認定および手当の給付を実施した。

この制度は、基礎となる児童の年齢を年次的、段階的に引上げることと定められており、本年度は、第2年次にあたり支給対象範囲の第1次拡大が実施された。

昭和38年4月2日以後に生まれた児童（昭和47年度は、昭和42年1月2日以後に生まれた児童）を含む3人以上の18才未満の児童を監護し、一定の生計関係にある者が対象範囲である。

本年度の認定状況および支給状況は次表のとおりである。

昭和48年4月～昭和49年3月分

所 属	前期末受給者数	新規認定件数	左のうち拡大による件数	消 減 件 数	本期末受給者数	算定基礎児童数別受給者数					支 払 件 数	支 払 金 額
						1 人	2 人	3 人	4 人	計		
小・中学校	497	378	264	16	846	794	45	5	2	846	2,460	29,361,000円
県立学校	266	171	107	9	434	400	29	4	1	434	1,235	15,138,000
各課・各機関	8	9	4	1	16	15	1			16	40	462,000
合 計	771	558	375	26	1,296	1,209	75	9	3	1,296	3,735	44,961,000